

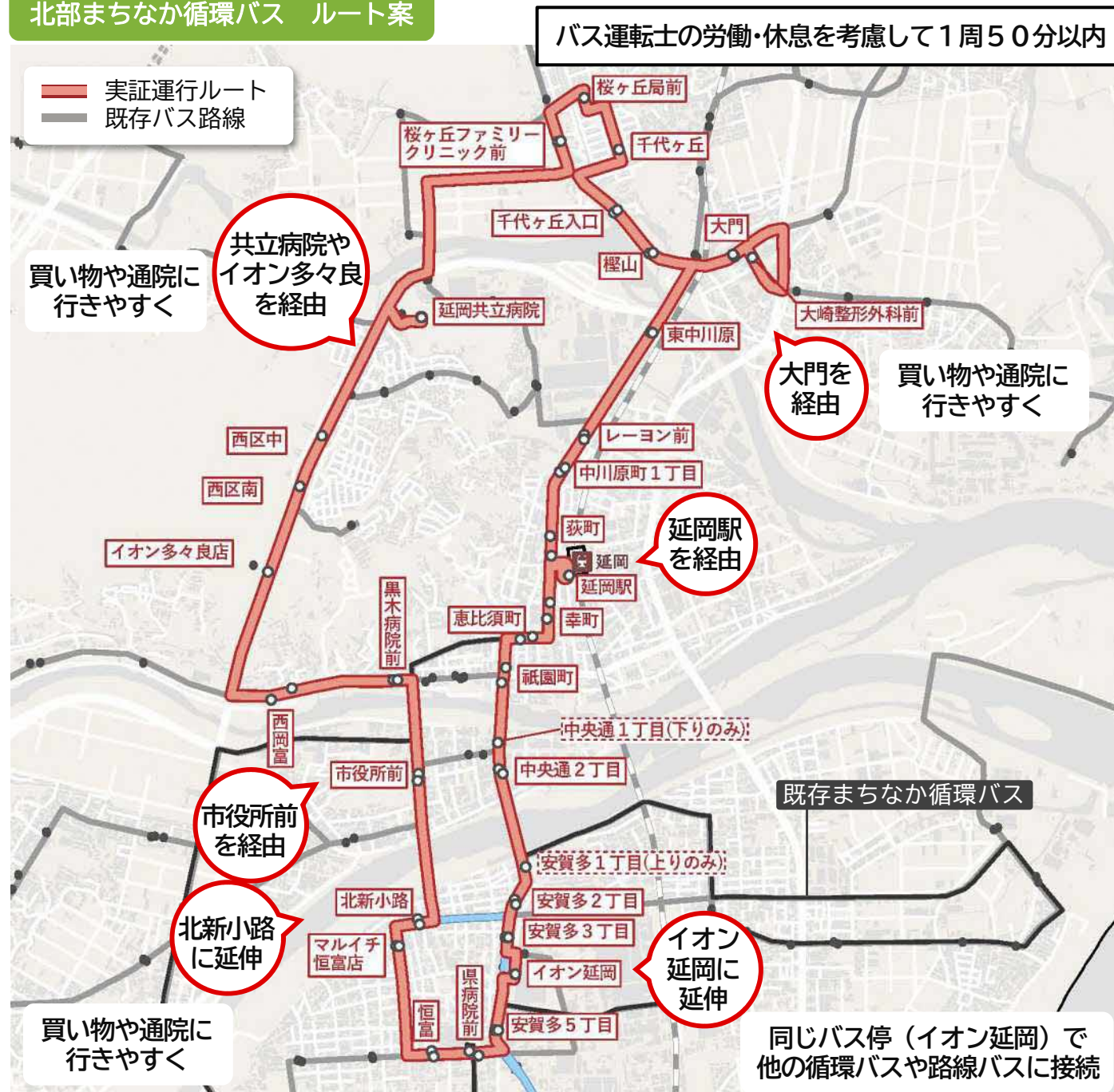
北部・南部まちなか循環バスの実証運行に向けて意見を募集します！

北部・南部まちなか循環バスは、令和2～3年に実証運行を行いました。コロナ禍の緊急事態宣言が重なり、住民の方々が十分に利用できない状況にありました。一方で、ご利用いただいた方々からは「継続してほしい」「コロナ禍で利用が伸びなかった」等のご意見を頂戴しました。そこで、本市では、これらのご意見を踏まえ、また、より一層マイカー依存を減らしCO2削減による脱炭素地球温暖化防止への取組みを強化するため、既存まちなか循環バスが運行していない北部・南部市街地のアクセス改善策として当時得られた課題を再検証しつつ、改めて「北部・南部まちなか循環バス実証運行」に向けて準備を進めています。つきましては、実施運行内容（案）を公表するとともに、広くご意見を募集いたします。

北部・南部まちなか循環バスの特徴

- 1 市民の生活行動が集中しているイオン周辺を中心とする路線として運行を再開
- 2 市民がよく外出する買い物・通院先を経由するルート設定（市民アンケート調査）
- 3 利用者の意向を踏まえ北部と南部の循環バスを接続（他のバスにも乗り継ぎ可能）
- 4 持続可能な運行を続けられるようバス運転士の負担を考慮して計画（事業者と協力）

北部まちなか循環バス ルート案



南部まちなか循環バス ルート案



令和3年に東京大学と連携して1,078人を対象に行った住民行動データ調査の結果を踏まえ、再ルートともイオン延岡店まで延伸する等の改善も図っています。

参考) 前回の実証運行内容

1 前回の実証運行路線

- 令和2年～令和3年にかけて行った実証運行路線は以下の通りです。

北部まちなか循環バス (旧)

- 運行期間 令和2年12月1日～令和3年2月27日
- 運行日 月曜日～土曜日 (日曜・祝日・年末年始は運休)
- 運行時間 1日8便 (9時台～16時台 右回り・左回り)
- 利用料金 中学生以上200円 小学生100円 幼児無料
悠々パス利用100円 運転免許返納者割引乗車証100円
障がい者手帳をお持ちの方 料金半額
- 1日乗車券 中学生以上400円 小学生200円
- 特別利用促進策 1日フリー乗車券を配布して利用促進
▶12月1日 (56枚)・2月9日 (35枚)



車両にマグネットを貼付



南部まちなか循環バス (旧)

- 運行期間 令和3年3月1日～令和3年5月31日
- 運行日 月曜日～土曜日 (日曜・祝日・年末年始は運休)
- 運行時間 1日10便 (9時台～18時台 右回り・左回り)
- 利用料金 中学生以上200円 小学生100円 幼児無料
悠々パス利用100円 運転免許返納者割引乗車証100円
障がい者手帳をお持ちの方 料金半額
- 1日乗車券 中学生以上400円 小学生200円
- 特別利用促進策 1日フリー乗車券を配布して利用促進
▶3月1日 (86枚)



車両にマグネットを貼付



2 前回の実証運行結果 (参考)

(1) 実証運行の利用実績

- コロナ禍の外出自粛も影響し、1日の運行回数に見合う利用者数は得られていません。

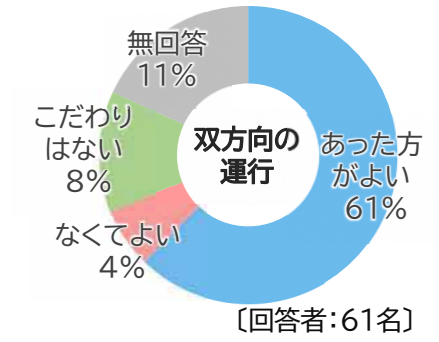
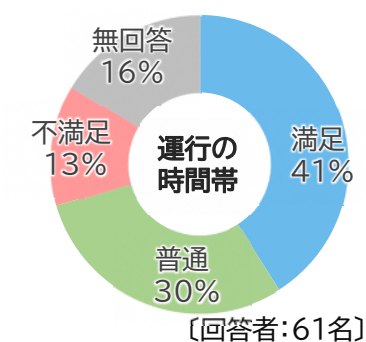
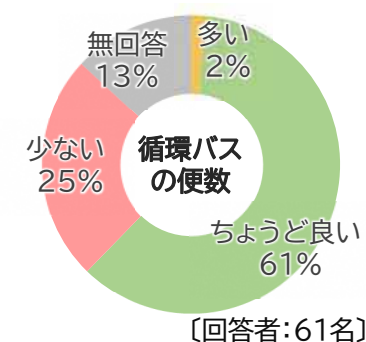
北部 まちなか 循環バス	当初目標 1便あたり 7人	68%に 低減	コロナ禍 補正目標 1便あたり 4.8人	実証運行結果 1便あたり 1.8人	達成度 C
南部 まちなか 循環バス	当初目標 1便あたり 6人	79%に 低減	コロナ禍 補正目標 1便あたり 4.7人	実証運行結果 1便あたり 2.8人	達成度 B

※達成度「A」は目標100%以上達成、「B」は50%～100%未満、「C」は50%未満

(2) 利用者の反響や課題

運行についての意見

- 高齢者、特に車がない人に大変便利。
- 病院や買い物にはすごく助かっている。
- バス停の位置は良い。イオン多々良や病院に行けるよく考えられた路線。



課題となった意見

■コロナ禍の影響や実証運行期間

- コロナ感染者も多く、今回は乗車人数が少なかった。
- 3ヶ月間は短い、市民に浸透するまで時間がかかる。

〈対応〉

コロナ禍で利用できなかった沿線住民もあり、今年度から実証運行を再開する。

■2時間に1本で少ない

- 大門に行きたいが外回り線が2時間に1本で少ない。
- 同じ方向へ1時間おきに運行してほしい。

運転士不足の深刻化で今以上に増やすことは困難、運転士が提供できる運行本数(限度)から取組を再開する

■南部地域はもう少し北(市役所など)まで運行

- もう少し北(市役所、船倉等)まで運行してほしい
- 北まで行けるよう北部循環バスと統合してほしい。

市街地内で行きたい場所にいけるよう、北部・南部路線の接続を計画する。